

取扱説明書

このたびは パピッとサーモ Light をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保管してください。

191003

こんな特長の体温計です。

口内温度をすばやく測る

おでこ（額部）から発せられる熱（赤外線）を読み取って、口内（舌下）の温度に換算して表示する体温計です。

肌に直接触れずに、約1秒で検温が完了します。



測る部位：おでこ  
表示される体温部位：口内  
病院や婦人体温計で採用されています。

▶ 具体的な測りかたは「体温を測る」の項目をお読みください。

口内温度のほかにも

表面の温度も測れます  
側面の専用ボタンを押すと表面温度を表示します。



具体的な測りかたは、裏面の「物体表面の温度を測る」の項目をお読みください。

開梱したら

すぐにキズや変色など外観上の異常がないこと、付属品に欠品がないことを確認してください。万一、不具合がありましたら購入された販売店までご連絡ください。

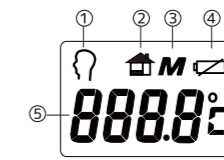
【内容物】

- 体温計本体
- 取扱説明書（本書）
- 添付文書
- 単4形乾電池（テスト用）

各部の名称



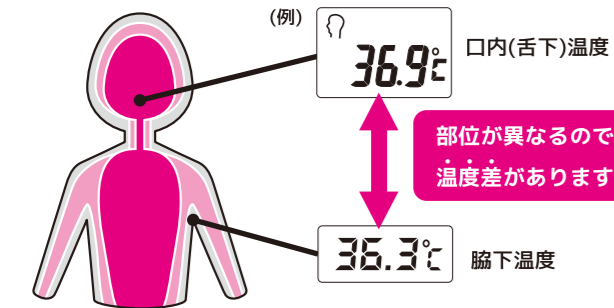
液晶部



- [体温測定] モード：口内温度の測定時に点滅
  - [物体表面温度測定] モード：物体表面温度の測定時に点滅
  - メモリモード：保存された温度を表示する時に点灯
  - 電池残量不足表示：電池残量不足時に点灯
  - 温度 / 保存番号：測定温度及び温度が保存されている番号を表示
- ▶ 電池の装着方法は裏面をお読みください。

体温のしくみと本器について

本器はおでこ（額部）の温度を測定し、口内（舌下）温度に換算して表示します。



体内深部温度イメージ(上半身)

体調が安定した状態で初めて本器で検温を行った時に、脇下に挟んで検温するタイプの体温計での検温結果（平熱）よりも高いと感じる場合がありますが、これは検温方式の違い（上図参照）や個人差によるものと考えられます。

常日頃から、体調の良い時に本器を用いて検温を行い、本器にて検温した場合の「平熱」を知っておくことや、脇下で測定を行う体温計でも検温を行い、本器との温度差を知っておくことが大切です。

時間帯毎（起床時、お昼、夕方、就寝前等）に本器で検温を行い、1日の体温の変化を知っておくことも有効です。

体温についての豆知識

- 全ての人に共通する「正常」な体温というものはありません。
- 体温は測定位置や測定時間、身体活動や精神的な変化（例：赤ちゃんが泣くことなど）によっても変わります。さらには外気温や検温の仕方、その他の要因によっても影響を受けます。
- 一般的に赤ちゃんや幼児は新陳代謝が活発なため、大人に比べて体温が高い傾向にあり、女性は月経や排卵期において体温が変化します。
- 人の体温は、臓器の働きを保つために体の内部ほど高く、安定しています。したがって、個人差はありますが一般的には口内（舌下）は脇下に比べて温度が高い傾向にあります。

測る前に読む

体温を測る  
口内(舌下)温度への換算

▶ 電池の装着方法は裏面をご覧ください。

測る前に、特に注意したいポイント

汗をかいている時は拭き取り、30分ほど待って測りましょう。



発汗の気化熱が検温結果に影響します。

汗を拭き、少し待つ

体温計が暖まっている、または冷えている時は、30分ほど待って室温に馴染みしてから測りましょう。



馴染むまで待つ

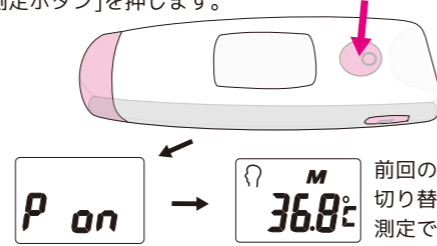
室温との温度差が大きいと、検温結果に影響します。

体温計に汚れがないか、確認してから測りましょう。特にセンサー部分に汚れが付着したまま使うと、検温結果に影響します。

体調の良いときにこの体温計で測った検温値を知っておきましょう。脇下式体温計と検温方式が異なるので、この体温計での平熱を把握することが大切です。

1. 電源を入れる

[体温測定ボタン]を押します。



前回の検温結果表示に切り替わったら、測定できます。

2. おでこに1cmまで近づける

測定センサー部をおでこの中央に近づけて静止します。

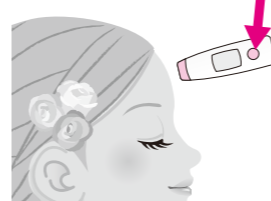


ここでのポイント

- 約1cm(指1本目安)まで近づける。1cm以上離れて測ると、距離に応じて検温結果が低く表示されます。
- 額の表面に対して垂直の位置に。斜めに近づけると検温結果に影響が出ます。
- しっかり持つ。手が大きくぶれると検温結果に影響が出ます。
- 静止して おでこの距離を保つ。額との距離が大きく変わると、検温結果に影響します。

3. [体温測定ボタン]を1回押す

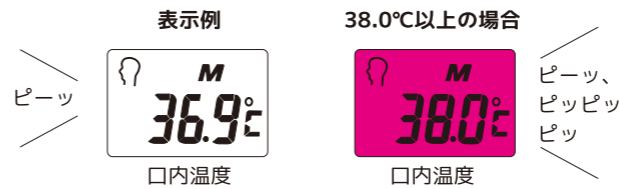
押して離します。カチッと音がします。



ここでのポイント

- 側面の[物体温度測定ボタン]を押さない。
- 測定項目が違うので、正しい検温結果が表示されません。

4. 検温結果を確認する



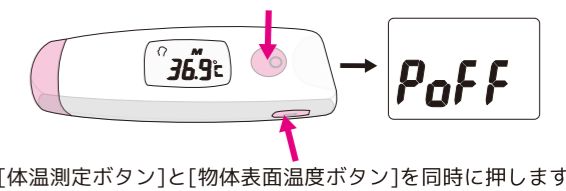
ここでのポイント

- 検温結果とアラーム音だけで発熱の有無を判断しない。人によって発熱と判断される体温は異なるので、健康上の不安がある場合には必ず医師にご相談ください。
- 検温結果がおかしいな?と思ったら、この取扱説明書の裏面をお読みください。測定時に起きやすい項目をまとめていますので、ご確認ください。

5. 電源を切る

30秒間放置すると電源が自動で切れます。

すぐに電源を切りたいときは



[体温測定ボタン]と[物体表面温度ボタン]を同時に押します。

「口内温度が低い気がする」

「平熱のはずなのに、いつもより高い？」

検温結果がおかしいな?と思ったら、

- 冒頭の「体温のしくみと本器について」をお読みください。
- 裏面の「検温結果がおかしいな?と思ったら」をお読みください。

保証書

保証規定

本器は当社基準に基づき検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。

- 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は無償で修理いたします。
- 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
  - 不適当な取扱い、使用による故障
  - 設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障
  - 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
  - その他当社の責任とみなされない故障

型番	NIR-03
シリアルNo.	
保証期間	年月日 より1カ年
お客様	お名前 ご住所 電話番号
販売店	店名

販売店様へ お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください

仕様

項目	仕様
体温測定範囲（測定部位：額）	+32.0°C ~ +43.0°C
体温測定精度	±0.2°C : +36.0°C ~ +39.0°C ±0.3°C : 上記以外
物体表面温度測定範囲	0.0°C ~ +100.0°C
物体表面温度測定精度	±2°C
最小表示単位	0.1°C
測定結果保存数	最新 16 件 (口内温度：最新 8 件、物体表面温度：最新 8 件)
表示部	LCD
使用環境温湿度	+10°C ~ +40°C、15%RH ~ 90%RH (但し、結露のないこと)

項目	仕様
保管環境温湿度	-10°C ~ +50°C、15%RH ~ 90%RH (但し、結露のないこと)
電源	単4形乾電池 × 1 個*
電池寿命	約 10,000 回**
パワーセーブ機能	約 30 秒間無操作状態で自動的に電源オフ
電撃保護の形式と程度	内部電源機器、BF 形装着部
人体・固形物体に対する保護	IP2X 準拠
水の浸入に対する保護	IPX2 準拠
寸法	約 (W) 31 × (H) 96 × (D) 26 mm
重量	約 40g (電池含まず)

項目	仕様
付属品	取扱説明書、添付文書、単4形乾電池 × 1 個

本器の仕様および外観は、改良の為予告なく変更する場合があります。ご了承ください。  
\* 本器に付属の電池は試供用です。市販の通常の電池よりも電池寿命が短いことがあります。  
\*\* ご使用になられる環境、状態、電池の種類により異なります。

株式会社カスタム

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-6-12  
TEL: 03 (3255) 1117 FAX: 03 (3255) 1137  
https://www.kk-custom.co.jp/

# 物体表面の温度を測る

▶ 電池の装着方法は右面をご覧ください。

## 測る前に、特に注意したいポイント

- 液体の温度を測るときは、よくかき混ぜましょう。



温度のムラを少なくすることで、測定結果の精度が上がります。

- 測る場所を考慮しましょう。例えば、哺乳瓶の側面を測っても、中のミルクの温度は表示されません。表示されるのは哺乳瓶側面の温度です。

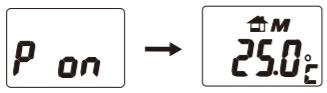
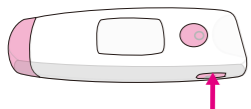
- 体温計に汚れがないか、確認してから測りましょう。特にセンサー部分に汚れが付着したまま使うと、測定結果に影響します。



室温との温度差が大きいと、検温結果に影響します。

## 1. 電源を入れる

[物体温度測定ボタン]を押します。



前回の検温結果表示に切り替わったら、測定できます。

## 2. 測定対象に近づけて [物体温度測定ボタン]を一度押す

対象物に近づけて静止します。



指1本(約1cm)くらいまで近づける



押して離します。カチッと音がします。

## 3. 測定結果を確認する

表示例

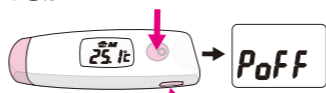


## 4. 電源を切る

30秒間放置すると電源が自動で切れます。

すぐに電源を切りたいときは

[体温測定ボタン]と [物体表面温度ボタン]を同時に押します。



## 検温結果がおかしいな? と思ったら...

- ・おもて面の「体温のしくみと本器について」をお読みください。

### 口内温度が高く表示される

- ・室温の低い部屋(場所)に置いてあった本器を、室温の高い部屋に移動してすぐに使用していませんか?

→ 測定する部屋の室温に20~30分程度なじませてからご使用ください。普段測定をする部屋に予め置いておくと、すぐに使えて便利です。また、[物体表面温度測定モード]にて室内温度を測定した際に表示される値と測定をする部屋の室温がほぼ同じであれば使用可能の目安になります。



馴染むまで待つ

- ・一般的に赤ちゃんや幼児の体温は高めで変化しやすく、平熱の幅が広い場合があります。

→ また、寝起きやぐずり、泣いた後などの興奮状態においては体温が上昇します。

### 口内温度が低く表示される

- ・本器とおでこ(額部)の距離が適切ですか?

→ 本器とおでこ(額部)の間は約1cmに保って測定を行ってください。

- ・室温の高い部屋(場所)に置いてあった本器を、室温の低い部屋に移動してすぐに使用していませんか?

→ 測定する部屋の室温に20~30分程度なじませてからご使用ください。普段測定をする部屋に予め置いておくと、すぐに使えて便利です。また、[物体表面温度測定モード]にて室内温度を測定した際に表示される値と測定をする部屋の室温がほぼ同じであれば使用可能の目安になります。



1cm



馴染むまで待つ

- ・外気やエアコンの影響を受けていませんか?

→ おでこ(額部)にエアコンの冷たい風が当たっていた直後に測定を行った場合、体温は低く表示されます。また、測定においては外気の影響を受けやすいため、風通しの良い場所や屋外でのご使用は避けてください。

- ・センサー部の周囲に汚れが付着していませんか?

→ 汚れが付着している場合には「保管お手入れについて」の項目の<センサー部のお手入れ>の説明を読み、汚れを除去してください。

- ・人によっては(寝たきりの方などは)、脇下の体温よりもおでこで測定した口内温度が低い場合があります。

→ この場合には脇下温度計と併用して事前に本器で測定した際の平熱を把握した上でご使用ください。ただし、本器での測定結果は医師による診断に代るものではありませんのでご注意ください。



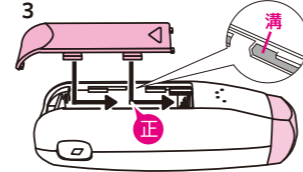
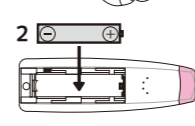
おでこを冷やさない

## トラブルシューティング

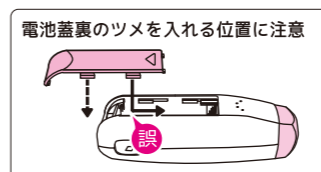
現象	原因と対策
電源が入らないまたは [電池残量] が表示される	電池残量低下 → 電池を交換してください。
電源が切れない	内部エラー発生 → 電池を一度外し入れなおしてください。
Lo	被測定者のおでこ(額部)が冷えています。 → エアコンの風などを避け、おでこ(額部)の温度が安定してから測定してください。 ご使用になる環境の温度になじんでいません。 → 20~30分程度測定する室温になじませてから測定してください。
	センサー部が濡れています。 → 水分を拭き取り、20~30分間放置後に測定してください。
	[体温測定] ボタンを押して物体表面温度を測定した。 → [物体表面温度測定] ボタンを押して測定してください。
Hi	ご使用になる環境の温度になじんでいません。 → 20~30分程度測定する室温になじませてから測定してください。
	[体温測定] ボタンを押して物体表面温度を測定した。 → [物体表面温度測定] ボタンを押して測定してください。
ErE	電池残量低下 → 電池を交換してください。
	内部エラー発生 → 電池を抜き約1分放置後、再度挿入してください。それでもエラーが表示される場合は販売店に連絡してください。
EHi	ご使用になる環境の温度が高すぎます。 → 使用環境温度範囲内でご使用ください。
ELo	ご使用になる環境の温度が低すぎます。 → 使用環境温度範囲内でご使用ください。

## 電池の装着および交換方法

- 1 電池カバーの三角マーク◀を親指で押しながらいずれの方向にスライドさせ、電池カバーをはずします。
- 2 新品の単4形乾電池1本を装着します。
- 3 電池カバーを元に戻します。図のように電池蓋裏の爪を本体の溝に合わせて納めた後、横にスライドさせると閉まります。



4か所の溝にツメを入れる



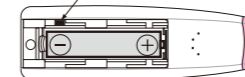
電池蓋裏のツメを入れる位置に注意  
2か所の溝だけではカバーが開きません。

## 電子音のオン/オフ 切替方法

「電源オン時」「温度測定時」「保存値呼び出し時」「メモリモードから電源オフ時」に電子音が鳴ります。これらをオフにすることができます。

1. 電源が入った状態で電池カバーを開ける。
2. “つまようじ”などの金属の材質ではない先端の細いもので奥にある [電子音オン/オフ] ボタンを押す。

[電子音オン/オフ] ボタン

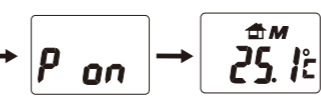
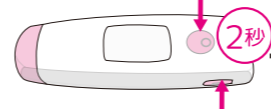


## メモリーモードの確認方法

本体のメモリに履歴が自動保存されます。  
・口内温度:最新8件  
・物体表面温度:最新8件

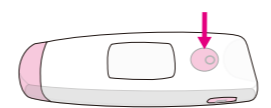
### 1. 電源を入れる

[体温測定ボタン]と[物体表面温度ボタン]を同時に2秒間押し続けます。



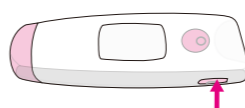
### 2. 履歴を確認したい対象を選ぶ

A:口内温度の場合:



[体温測定ボタン]を押します。

B:物体表面温度の場合:

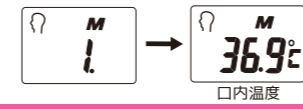


[物体表面温度測定ボタン]を押します。

### 3. 確認したい履歴を選んで確認する

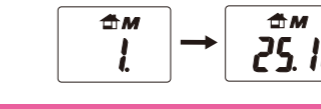
ボタンを繰り返し押すことで、古い履歴に遡って表示されます。M1が最新、M8が最も古い履歴です。

A:口内温度の場合:



[体温測定] ボタンを押して物体表面温度を測定した。  
→ [物体表面温度測定] ボタンを押して測定してください。

B:物体表面温度の場合:



[物体表面温度測定] ボタンを押して測定した。  
→ [物体表面温度測定] ボタンを押して測定してください。

## 保管・お手入れについて

### <保管方法>

温度: -10℃ ~ +50℃ 湿度: 15% RH ~ 90% RH (但し、結露のないこと)  
保管場所: 日光下や電磁波の生じる場所、ほこりの多い場所では保管しない。

### <測定センサー部のお手入れ>

- ・本器の測定センサー部とその周辺の銀色の部分はとても繊細です。常にきれいな状態に保つために乾燥したきれいな場所で、ほこりなどから保護して保存してください。
- ・ほこりや汚れを除去する必要がある場合は、綿棒に消毒用アルコールを少量つけて軽く拭いてください。汚れを取った後、測定センサー部に何も付着していない事を確認してください。綿棒と消毒用アルコール以外は使用しないでください。

### <本体の汚れがひどい場合>

- ・水または中性洗剤を浸み込ませた布を固く絞って拭き取った後、柔らかい布で乾拭きしてください。

### 注意

- ・本体内部や測定センサー部に液体が入らないように注意してください。
- ・お手入れ後は、最低30分以上待ってからご使用ください。

## 安全にご使用いただくために

本器をご使用になる前に安全上のご注意と取扱説明書をよくお読みください。

## 安全上のご注意 必ずお守りください

警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
注意	人が傷害または財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

## 警告

- ・指定の方法、条件以外での使用は絶対に行わない。過度の衝撃や振動を与えない。本器を破損したり重大事故を引き起こす恐れがあります。これらに起因する損害について製造販売業者はその責任を負いません。
- ・電子レンジなどのマイクロ波加熱炉の温度測定は絶対に行わない。本器を破損したり重大事故を引き起こす恐れがあります。
- ・故障が疑われる場合は使用しない。使用前に亀裂、破損等の異常がないかを充分確認し、本器の使用中に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。
- ・本器の分解、改造は行わない。修理が必要な場合は、購入された販売店にお問い合わせください。これらに起因する損害について製造販売業者はその責任を負いません。
- ・本器を加熱したり火中に投入しない。破裂による火災、怪我の恐れがあります。
- ・危険物、発火物、爆発の恐れがある場所では使用しない。重大事故を引き起こす恐れがあります。
- ・本器を濡れた手で扱ったり、水で濡らさない。感電のおそれがあります。
- ・本器や本器に使用する電池は乳幼児の手の届く所に置かない。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- ・電池の液が目に入ったときは失明などの恐れがあるので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける。
- ・電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。
- ・電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしない。
- ・電池のプラス、マイナスを逆に使用しない。
- ・付属の電池を充電しない。充電すると液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
- ・電池のプラス、マイナスを針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管をしない。
- ・使い切った電池はすぐ本器から取り出す。
- ・本器が濡れている時や湿気の多い場所では絶対に使用や電池交換、電子音のオン/オフ切替をしない。また濡れた手で電池交換や電子音のオン/オフ切替をしない。感電の危険があります。
- ・指定されている電池以外は使用しない。
- ・電池を交換する際は、必ず電源を切ってから行う。
- ・電池交換後や電子音のオン/オフ切替後は必ず電池カバーを閉じてから使用する。
- ・長期間使用しない場合には、本器から電池を取り出す。

## 注意

- ・高温や低温のところ、直射日光の当たるところ、湿気やホコリの多いところでの使用や保管はしない。保管環境温度以外の環境下で保管しない。故障の原因になったり、正しい測定ができなくなります。
- ・周囲に雑音を発生させる装置のある場所や静電気の溜まっている物体の近くでは使用しない。表示が不安定になったり、誤差の原因となります。
- ・外部の強力なノイズ等により測定ができなくなった場合や、表示に異常が発生した場合は一度、電池を取り外して入れ直し、本器をリセットする。
- ・本器の測定センサー部を太陽や強い光源に向けない。センサーが破損する可能性があります。
- ・測定センサー部に傷があるときは使用しない。測定センサー部に傷がある状態では正しい測定結果を得られません。
- ・測定する物体に測定センサー部を接触させない。傷がついたり、汚れや異物が付着すると、誤作動の原因になります。
- ・測定センサー部を強く押ししたり、硬いものや鋭利なもので突いたりしない。故障の原因になります。
- ・電池残量不足表示が現れたら、すぐに電池を交換する。正確な温度測定ができません。